



●岸 ミツアキ (Piano)

- 1961年和歌山県生まれ。
- 1997年以降リーダー・アルバム13作、ベストアルバム1作をリリース、うち3作が『スイングジャーナル誌・選定 ゴールドディスク』を獲得。スタンダード曲を中心にしたオーソドックスなアルバム作りは 常に高い評価を受けている。
- 1999年、自己のトリオで米西海岸『コンコード・ジャズ・フェスティバル』に出演。
- 2003年、日露友好条約に基づいて、外務省の要請によりロシア親善ツアーを行い大好評を博す。
- 以降『ウラジオストク国際ジャズ・フェスティバル』など、近年まで5度に渡るロシア公演を行なっている。
- 俳優の故・藤岡琢也氏と写真家・浅井慎平氏が隔週でパーソナリティをつとめていたNHKラジオ「ときめきJAZZ喫茶」でオープニングとエンディング・テーマの作曲と演奏を担当、準レギュラーとして番組にもたびたび出演した。
- 2007年、ロン・カーター(b)出演の「Tully's Coffee」テレビCMに使用された曲「It's The Time」でピアノを担当。同バージョンはロン・カーターのアルバム「It's The Time」にボーナス・トラックとして収録された。
- 和歌山県より「平成19年度・和歌山県文化表彰／文化奨励賞」を授与される。
- 2008年、デュッセルドルフ日本国総領事館の要請とバックアップにより、ドイツ 公演を行う。
- 2011年～12年、2度にわたるキルギス共和国、またカザフスタン共和国など、中央アジア での初公演が実現。
- 最新リーダー・アルバム「ラヴ・アット・ファースト・サイト」は故ジョージ・シアリングを長年支えた名手ニール・スウェインソン(b)とカウント・ベイシー・オーケストラのリーダーでもあるデニス・マックレル(ds)との共演作。
- 「箱石流熱烈的音楽会」で「盛岡ジャズオールスターズ」と共演のほか、自らのライブで来県する機会が多く、県内に熱狂的なファンが多い。

●マーヴィー 朝倉 (Bass)

- 「鈴木章治&リズムエース、世良譲トリオ」等々、長年にわたって超一流のジャズミュージシャンのグループのメンバーとして演奏活動し、安定したリズム感とソロの歌心には定評がある。
- 「原田 靖&シテイスウインガーズ」に長く参加した後ニューヨークに居を移し、アメリカでも長く演奏活動をした。
- 「箱石流熱烈的音楽会」で、「原田 靖&シテイスウインガーズ」と「盛岡ジャズオールスターズ」と共演した。今回は久々の来県となる。
- 現在は東京に在住する超ベテランのベーシストである。



●山本 勇 (Drums)

- 東京在住。「秋満義孝クインテット、鈴木章治&リズムエース、森寿男&ブルーコーツオーケストラ、デキシーキャッスル」等々、超一流のバンドで活躍、ジャンルを広くカバーする プレイヤーとして多くのプレイヤー仲間から高い評価を得ている。
- 「原田 靖&シテイスウインガーズ」では結成以来25年不動のメンバーであった。
- 「箱石流熱烈的音楽会」で、「原田 靖&シテイスウインガーズ」と「盛岡ジャズオールスターズ」と共演した。今回は久々の来県となる。
- スウィング全盛時代のダイナミックなドラムスのプレイのできる貴重な存在でもある。

箱石 啓人 プロフィール

●箱石 啓人 (Trumpet・Piano・Composer・Arranger)

- 1931年東京生まれ。
- 国立音楽大学卒業。大学在学中からプロ活動をはじめ、チャーリー石黒&東京パンチオス、ダン池田&アフロキューバンオーケストラ、スマイリー小原&ラテンアゴーゴーなど数々のビッグバンドやコンボバンドに在籍、演奏と編曲で活動した。
- IBC岩手放送に招へいされ、IBCニューサウンズオーケストラのコンサートマスターを務め「家族そろって歌合戦」他、多くの音楽番組の編曲と演奏、ドラマやドキュメント番組の作曲音楽制作と演奏録音に活躍した。
- 自己のコンサートは地元のプロ、アマの協力を得て、グランドオーケストラを編成しての大型のものからコンボ編成まで多岐にわたり数多く開催している。
- 企画力と個性豊かなオリジナル作品、グレードの高いリリカルな演奏に定評がある。岩手競馬の行進曲とファンファーレは、箱石啓人の作曲演奏録音である。
- 盛岡市に音楽事務所「HAW音楽工房」を主宰、バンドの編成や作曲編曲の提供をし、現在も多方面のミュージシャンとともに全国的に活動を展開している。音楽理論、器楽、吹奏楽の指導と後進の指導にも力を尽くし、吹奏楽コンクールの審査も行い活動範囲は広い。

